

国十ナリシカ議長ハ其絶对多数ヲ得サルコトヲ宣言シ遂ニ消滅セリ第一委員 会モ引統キ開会シ往電第一四三号戰時禁制品封鎖及郵便信書保護ノ報告ヲ議事ニ付シ調査委員報告通り通過セリ但シ露国ハ郵便信書保護規定案中第一條ノ第二項ニ対シ留保セリ(續ク)

九月二十六日 後一〇、五〇 海牙發
 九月二十七日 後九、二五 本省着

第一四四号ニ
 續キ

又既報ノ通り英国委員ハ其戰時禁制品全廢ノ提議ニ対シニ六ヶ国ノ賛成ヲ得タル勢ニ乗シ昨日賛成諸国ノ委員ヲ其旅館ニ招キ賛成国間ニテ禁制品全廢ノ條約ヲ訂結セン事ヲ試ミタルニ他国ノ委員ハ「コンフハレンス」以外ニ於テ別ニ條約ヲ訂結スルノ権能ヲ有セサルヲ理由トシ之ヲ拒ミタル由ニ伝ヘラル

第六節 軍備制限宣言案

二六六 明治四年七月七日 在海牙都筑大使ヨリ
 林外務大臣宛(電報)

英国ノ軍備制限宣言案ニ関シ報告ノ件
 七月十七日 後四、四〇 海牙發
 七月十八日 後七、一〇〇 本省着

林外務大臣宛

都筑大使

第六六号ノ二

二、本官ノ内密ニ英国委員ヨリ聞得タル所ニヨレハ英国ハ會議ノ終リニ左ノ如キ減兵案ヲ提出スルナルヘシ本案ニハ多分独逸モ同意スヘシト信セラル、ガ故ニ全会一致ノ表決ヲ得ルナルヘシト思考ス

本會議ハ一千八百九十九年ノ會議ニヨリテ可決セラレタル軍事費制限ニ関スル決議ヲ確認ス而シテ該軍事費ガ同年以來殆ント総テノ国家ニ於テ著シキ増加ヲ来シタルニ鑑ミ本問題ハ未曾有ノ緊急事項ニシテ各国政府力之ノ研究ニ再ヒ着手センコトヲ希望スル旨ヲ宣言ス

二六七 明治四年七月九日 在海牙都筑大使ヨリ
 林外務大臣宛(電報)

英国軍備制限宣言案報告中訂正ノ件
 七月十九日 後六、二五 海牙發
 七月二十日 後一、二〇〇 東京着

林外務大臣宛

都筑大使

第七〇号

往電第六六号ニ関シテ

英国減兵案中(未曾有ノ緊急事項ニシテ)トアルハ(旧ニ比シ一層緊急ノ度ヲ増シタリ)トノ意味ニツキ御承知ヲ乞フ

二六八 明治四年七月十二日 在海牙都筑大使ヨリ
 林外務大臣宛(電報)

英国軍備制限宣言案ニ対スル各国ノ態度報告ノ件

七月二十一日 後五、一〇〇 海牙發
 七月二十二日 前九、四〇〇 本省着

林外務大臣宛 都筑大使

第七五号

軍備制限問題ニ関シ各国委員ハ本国政府ニ請訓セリ而シテ
独逸国委員ハ「本問題カ旧ニ比シ一層緊急ノ度ヲ増シタ
リ」トノ文句ニ反対シ千八百九十九年ノ希望ヲ繰返スコト
ニ止メ置カントノ考ヲ抱クカ如シ本官ハ本件ニ関シ内密ニ
英米兩國委員ニ談シタルニ英國ニ於テハ右文句ノ變更ニ同
意スヘキ模様ナリ抑モ本問題ハ其ノ採決ニ先テ之カ詮議ヲ
許スニ於テハ独逸兩國委員ハ必ス討議ヨリ引退クヘキニ依
リ「サー・エドワード・フライ」氏一回ノ演説後直チニ投
票ヲナシ之ヲ可決スルノ計略ナリ然ルニ本會議ニハ斯ル大
問題ニ対シ大ニ雄弁ヲ振ハント期待スル多数ノ小国代表者
アレハ此ノ如キ計略カ果シテ成効スヘキヤ否ヤハ疑問ナ
リ

二六九 明治四十年七月二十三日 西国駐劄稻垣公使ヨリ
林外務大臣宛(電報)

軍備制限案ニ対スル西班牙国意向報告ノ件

右ハ其當時不取敢以電報報告ニ及ヒ置候得共尙尙更メテ及
具進候 敬具

明治四十年七月二十四日

在西 特命全權公使 稻垣滿次郎(印)

外務大臣子爵 林 董殿

二七一 明治四十年八月八日 在海牙都筑大使ヨリ
林外務大臣宛(電報)

軍備制限ニ関スル宣言案可決ノ件

八月十八日 後四、〇〇 海牙發
八月十九日 前八、〇〇 東京着

林外務大臣宛

都筑大使

第一〇四号ノ二

(昨十七日ノ總會議ニ於テ)―右了ツテ英國委員ヨリ軍備制

七月二十二日 後四、五五 リスボン發
七月二十三日 前八、三〇 本省着

林外務大臣宛 稻垣公使

第二五号

当国外務大臣曰ク英國カ軍備制限ヲ議スルトキハ葡萄牙
政府之ニ賛成スヘシト

二七〇 明治四十年七月二十四日 西国駐劄稻垣公使ヨリ
林外務大臣宛

前同件葡国政府ノ意向報告ノ件

機第一九号

九月九日接受

目下開會中ノ海牙平和會議ニ於テ参列国中ヨリ軍備制限ニ
関シ強議スルモノ無之ニ於テハ英國委員ハ右議案ヲ提出可
致旨同會議々長迄届出候趣承知致候ニ付キ七月二十二日葡
国外務大臣ト会見致候節英國若シ右議案提出致候場合ニ於
ケル葡国政府ノ賛否ニ付キ相尋候処同大臣曰ク英國ニシテ
此ヲ提議スルトモ畢竟一場ノ議論ニ止マリ何等取纏リタル
結果ヲ見ルベシトハ想到シ得サレトモ鬼モ角モ英國政府此
ヲ提出スル場合ニ於テハ葡国政府ハ此ニ賛成スベシト

限問題ニ関スル左記宣言案ヲ提出シ拍手喝采ヲ以テ之ヲ可
決セリ該案ハ先キニ電報シタル前草案中ヨリ緊急云々ノ文
句ヲ削除シ熱望云々ニ改メタルモノナリ委細後電

(軍備制限ニ関スル宣言案)

本會議ハ一千八百九十九年ノ會議ニ依リテ可決セラレタル
軍事費制限ニ関スル決議ヲ確認ス而シテ該軍事費ガ同年以
来殆ント総テノ國家ニ於テ著シキ増加ヲ来シタルニ鑑ミ本
會議ハ各國政府カ本問題ニ対シ再ヒ慎重ナル研究ニ着手セ
ンコトヲ切望スル旨ヲ宣言ス

註 本案討議狀況ハ八月二十日第一〇五号陸軍關係
事項二八六文書ニテ報ゼラレタリ